

CIVIC

Press Information 2017.7.27



暮らしを豊かにするクルマを目指し
1972年に誕生した一台のコンパクトカーは、
世界の人々の声に応えながら代を重ね
Hondaを象徴するグローバルカーへと成長しました。
激しく変化する時代の潮流を常に先駆け、45年。
シビックはクルマづくりをゼロから見つめ直し、
新生しました。
Hondaが考えるクルマの根源的価値であり
クルマの世界共通言語でもある
「走る楽しさ・操る喜び」を追い求めて。
世界の人々と分かち合うために。



CIVIC史上かつてない価値を、世界の人々に届けたい

1972年に初代が誕生して以来、いち早く海外に視野を広げたシビックは世界のベーシックカーへと成長し、現在170以上の国と地域で販売されています。

Hondaが2016年に達成した四輪車における世界生産累計台数1億台の内約2400万台、およそ4分の1をシビックが占めるほど世界で多くの人に愛用されてきました。

Hondaは時代の流れを見据えながら世界の人々の声に応えるために、これまでは地域に最適なクルマづくりという理念のもと、それぞれの地域のニーズを見極めたシビックを展開してきました。

しかし近年ではシビッククラス(Cセグメント)の市場は大きく変化し、よりハイレベルな走りの性能やプレミアム性の高い質感といった本物志向のニーズが欧州のみならず北米やアジアなど世界的に高まっています。

そこで10代目となるNewシビックは、しのぎを削るこのクラスをリードしていくために、Hondaがすべてのクルマづくりに求める根源的価値である「走る楽しさ・操る喜び」をかつてないレベルに引き上げ、世界の人々に共通の価値として届けたいと考えました。各地の開発拠点と連携を図りながら、シビックシリーズ史上初となる、セダン、ハッチバック、さらにTYPE Rを含む全モデルを同時に開発。

徹底的に高めた基本的なポテンシャルを共有したうえで、各モデルが「走る楽しさ・操る喜び」の飛躍的な向上を目指すという同時開発ゆえに実現可能な価値の創造にチャレンジしました。

■シビックシリーズ 主な研究・開発拠点および生産拠点



シビックシリーズは各モデルの主要市場となる地域の拠点で生産を行い、各地域が互いに補完しながらグローバル展開を行う高効率な生産体制を構築。日本に投入されるモデルは、セタンは国内(埼玉県寄居完成車工場)で生産、ハッチバックとTYPE Rは英国(Honda of The U.K. Manufacturing Ltd.)で生産し、輸入されます。

全モデルを同時開発することで、シリーズ全体のポテンシャルを飛躍的に向上

Hondaは、世界共通のクルマ本来の価値である「走る楽しさ・操る喜び」を

世界中の多くの人と分かち合いたいという思いから、

より幅広いお客様に選ばれるCセグメントをリードするクルマを目指し、シビックシリーズの在り方をゼロから見つめ直しました。

まずはセダン、ハッチバック、そしてTYPE Rをも含めた全モデルで

新世代のシビックとしての資質を共有できる高次元なプラットフォームの具現化に着手しました。

日常の使い勝手からサーキット走行まで想定したクルマの基礎づくりから

取り組むことで、懐の深いポテンシャルを持つ基本構造を構築。

これをベースに全モデルを同時開発することによって、それぞれの強みを互いに享受しながら

個性を引き延ばすことが可能になりました。セダンやハッチバックは広さや使い勝手の向上はもちろん、

TYPE Rと同じ血が流れる、よりスポーティーな運動性能を獲得。

一方のTYPE Rは、従来のようなベース車両からのチューンアップではなく当初から専用開発をスタートしたことで

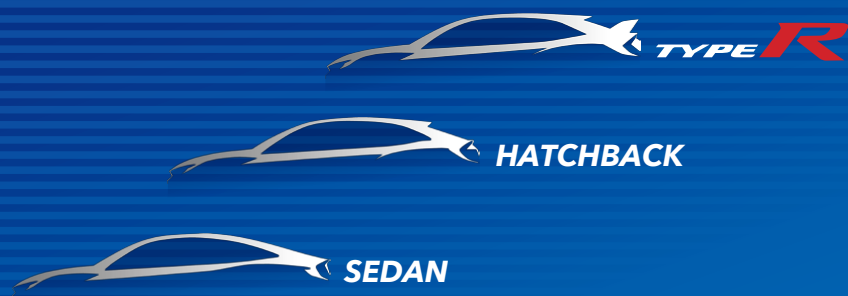
スポーツ性能を大幅に強化でき、なおかつプラットフォームの許容範囲の広さを活かすことによって、

街中での乗りやすさや居住性、快適性などをよりいっそう拡大。

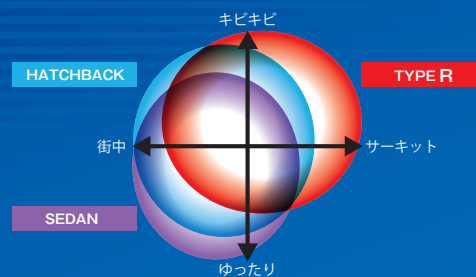
すべてのモデルが「走る楽しさ・操る喜び」をより深く、より多くのシーンで

体感していただけるシビックへと、飛躍的な進化を遂げました。

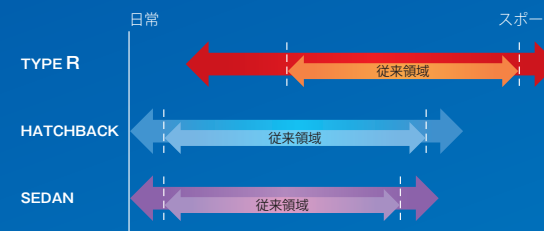
CIVIC



■「走る楽しさ・操る喜び」領域イメージ



■共通プラットフォームによるポテンシャル向上イメージ



「走る楽しさ・操る喜び」の具現化を目指し、互いに磨き上げた、シビックシリーズ〈コア・テクノロジー〉

SEDAN / HATCHBACK

Cセグメントトップレベルの洗練された走り

TYPE R

FFモデル最速*の圧倒的な走り

共通コンセプトのコア・テクノロジー

力強くハイレスポンスな
1.5L VTEC TURBOエンジン

高出力・高トルクを生み出す
VTEC TURBOエンジン

NAエンジンのようなレスポンスを目指した
2.0L VTEC TURBOエンジン

爽快な加速フィールをもたらす
パドルシフト付CVT / 6速MT

エンジンにベストマッチさせた
トランスミッション

鋭い加速性能を発揮する
軽量フライホイール採用6速MT

走りと静粛性を飛躍的に高めた
高剛性・低振動ボディー

シャシー性能を存分に引き出す
ボディー骨格

路面を問わず揺るぎない信頼性をもたらす
接着接合ボディー

CD値の低減と揚力をバランスさせた
燃費と安定性に優れた空力性能

スタイリングと走りの機能を両立した
空力性能

CD値の低減とマイナスリフトを追求した
限界性能を引き上げる空力性能

操る楽しさと安心感を両立した
フロントマクファーソン・ストラット / リアマルチリンク

懐の深い運動性能を目指した
サスペンション

サーキットでも優れた操縦性を発揮する
フロントデュアルアクシス・ストラット / リアマルチリンク

スポーティーな運転も快適で安心な
低ドライビングポジション / ワイドな視界

ドライビングを堪能するための
パッケージング

ハイスピード領域でも安心感の高い
専用設計シート & 低ドライビングポジション / ワイドな視界

《低重心・低慣性・軽量・高剛性》
新世代プラットフォーム